

1 はじめに

本校の特別活動の目標は、「自主性・自発性を尊重し、創意ある生き生きとした活動の展開により、学校生活の充実を図る。」である。

この目標を達成するために、本校では次のような活動を行っている。

2 資料（実践例）

＜キッズタイム・児童集会＞

キッズタイムでは、異学年集団の場と活動を意図的に設定し、学級や学年をこえた人間関係がつくられている。特に高学年は、下級生のお世話をし、思いやりの心や、班をまとめる力が育ってきている。毎回、班ごとに遊びやルールを工夫し、全学年が楽しめるように考えながら実施している。

毎年、年2回計画委員会が主催する児童集会を行っている。11月の児童集会では、ジャンケン玉取りゲームを行った。班で玉の個数を競い合うため、高学年を中心に作戦を練るなど各班で協力し合って活動した。2月に予定されている玉入れゲームでは、ダンスを踊りつつ玉入れを行う。これは本校の運動会の種目で毎年実施されている。



3 成果と課題

- ・異学年交流の場となり、これらの活動を通して自分以外の学年の児童と仲よくなり、通常の休み時間にも遊んでいる姿が見られる。
- ・縦割り班活動では、高学年を中心とし、児童同士が主体的に協力し合って活動することができ、集団としての一体感が育っている。
- ・コロナウイルス感染症予防対策として、屋外で実施する活動のみになることやソーシャルディスタンスを保つことができる活動に限られることが課題である。
- ・児童集会の企画・運営を通して、計画委員の児童の愛校心を高めることができた。活動の達成感は、これからの学校生活への意欲となり更なる好影響が期待できる。